

令和8年度 大分県立埋蔵文化財センター

BVNGO 大友資料館・収蔵庫にかかる機能維持・強化基本計画策定業務委託 仕様書

1 委託業務名 令和8年度 大分県立埋蔵文化財センター BVNGO 大友資料館・収蔵庫にか
かかる機能維持・強化基本計画策定業務委託

2 実施場所 大分県立埋蔵文化財センター 大分市牧緑町 1-61

3 履行期間 契約締結日から令和9年3月19日

4 委託目的

大分県立埋蔵文化財センターは前身の大分県教育庁埋蔵文化財センターからその機能を受け継ぎ、施設も中判田から当地に移転、展示施設として「豊の国考古館」、「BVNGO（ぶんご）大友資料館」、「歴史体験学習館」を設置し2017年4月に大分県立埋蔵文化財センターとしてリニューアル開館した。しかし、「BVNGO 大友資料館」については、展示設備、機械設備、電気設備を旧大分県立芸術会館のものを使用しており、資料の搬出入ルートについても搬出入導線や空調・気密性の観点から国指定重要文化財等の展示を行うには不十分であり、展示手法的にも旧式で県民の大分県や大友氏の歴史への興味喚起が十分に図れているとは言い難い。

本業務の目的は、老朽化する施設の機能維持に加え、令和元年に「BVNGO 大友資料館」の展示資料の多くが国の重要文化財に指定されたことから、これらの展示・収蔵を行っていく上で適切な環境を文化財 IPM の視点も踏まえて整備する必要がある。また、県内には大友氏遺跡や臼杵城跡など現地で大友氏の歴史や文化を体感できる遺跡があり、それらの情報発信の中核となる施設が求められている。そのため、埋蔵文化財センターの現状の展示施設としての機能の維持や強化を図るために必要な調査を行い、基本的な方針を策定することを目的とする。

5 対象範囲

- ・大分県立埋蔵文化財センター 展示棟2階 BVNGO 大友資料館
 - ・大分県立埋蔵文化財センター 展示棟1階 各収蔵スペース
- (詳細については平面図(別添資料)を参照。)

6 業務内容

別添「BVNGO 大友資料館の機能維持・強化イメージ(案)」を基に下記、(1)～(6)の業務を行う。なお、業務にあたっては文化財保護法53条及び文化財 IPM に配慮した計画を検討すること。

(1) 機能維持・強化に向けた基本方針の策定

- ・現状の課題や懸念事項の確認・整理
- ・展示史料の確認と展示手法の現状調査と課題の抽出
- ・県内外他館の展示事例調査（5施設程度）
- ・建築構造体（柱、大梁、壁等）や設備の目視可能な範囲の調査と課題の抽出
- ・施設機能維持・強化の方向性の検討

(2) ゾーニング及び動線計画

- ・上記（1）の基本方針を基にした全体の配置と諸室の規模、動線の検討
- ・諸室の配置及び動線計画を検討し、平面計画図の作成

(3) 展示計画

- ・展示構成、テーマ、展示資料、展示手法等の検討
- ・展示配置、導線・ゾーニングの検討
- ・展示イメージスケッチ（主要カット4点程度）の作成

(4) 施設機能維持・強化計画

- ・収蔵導線、展示機能の更新及び機能強化に必要な建築・設備改修箇所の検討及び機能維持・強化計画の策定

(5) 工程スケジュール計画及び概算事業費の算出

- ・事業スケジュールの検討、作成
- ・機能維持・強化に係る今後の概算事業費の算出

(6) その他

- ・本業務を担当するスタッフ(有資格者を含む)の組織体系図を作成し、承認を得ること。
- ・機能強化項目の実現可能性の検証に際しては、関係各機関と協議し、これを踏まえ検討を行った上で発注者が指示する資料の作成を行うこと。
- ・発注者が指示する打合せ等に参加し、必要に応じて進捗状況及びそれに係る資料の説明ならびに打合せ等において必要となる資料作成や議事録の作成を行うこと。
- ・現建築物の建設時の設計図及び構造図等、検討に必要な資料は本県より提供を行う。

7 成果品

- ・基本計画書案（概要版） A4 版 簡易製本 6部
- ・基本計画書案（本編） A4 版 簡易製本 2部

- ・ 中間報告書

(施設課題の抽出、建築構造体の調査結果、基本方針の概要、来年度の概算事業経費の見込み等を整理したもの。)

- ・ 打ち合わせ議事録

- ・ 電子データ

1 枚

(編集可能電子形式とし、事前に発注者の承認を得ること。)